

## 平成 30 年(1~12 月)冷凍食品の生産・消費について(速報)

一般社団法人 日本冷凍食品協会

## 1. 国内生産

## (1) 総論

当協会調べによる平成 30 年(1~12 月)のわが国の冷凍食品国内生産は、数量が 1,587,008 トン(対前年比(以下、同じ)99.2%)と前年を僅かに下回り、金額(工場出荷額)は 7,154 億円(99.8%)とほぼ横ばいとなったが、昨年同様 7 千億円台となった。

表-1

平成20年	2008	工場数		企業数		数量		金額	
			対前年比		対前年比	(トン)	対前年比	(億円)	対前年比
		731	98.0%	596	98.0%	1,471,396	96.3%	6,662	100.0%
21	2009	647	88.5%	533	88.5%	1,396,035	94.9%	6,365	95.5%
22	2010	599	92.6%	488	92.6%	1,399,703	100.3%	6,284	98.7%
23	2011	572	95.5%	463	95.5%	1,417,907	101.3%	6,300	100.3%
24	2012	523	91.4%	437	91.4%	1,476,368	104.1%	6,433	102.1%
25	2013	513	98.1%	422	98.1%	1,550,085	105.0%	6,774	105.3%
26	2014	511	99.6%	419	99.6%	1,541,891	99.5%	6,805	100.5%
27	2015	480	93.9%	416	99.3%	1,519,883	98.6%	6,870	101.0%
28	2016	476	99.2%	414	99.5%	1,554,265	102.3%	6,871	100.0%
29	2017	466	97.1%	406	97.6%	1,600,046	102.9%	7,172	104.4%
30	2018	444	95.3%	397	97.8%	1,587,008	99.2%	7,154	99.8%

## (2) 業務用・家庭用別

業務用は、数量が 899,772 トン(96.0%)で 3 年ぶりの減少、金額も 3,966 億円(97.8%)で減少となった。

一方、家庭用は、数量が 687,236 トン(103.7%)、金額も 3,188 億円(102.3%)となり、数量は 4 年連続で増加、金額は 2 年連続で増加となった。

業務用と家庭用の比率は、数量ベースではそれぞれ 56.7%、43.3%(前年 58.6%、41.4%)、金額ベースでは 55.4%、44.6%(前年 56.6%、43.4%)となり、数量ベース、金額ベースともに家庭用の比率がやや上昇した。

表-2 数量

平成20年	2008年	業務用			家庭用		
		(トン)	対前年比	構成比	(トン)	対前年比	構成比
		945,556	96.2%	64.3%	525,840	96.6%	35.7%
21	2009	886,898	93.8%	63.5%	509,137	96.8%	36.5%
22	2010	859,342	96.9%	61.4%	540,361	106.1%	38.6%
23	2011	864,303	100.6%	61.0%	553,604	102.5%	39.0%
24	2012	894,582	103.5%	60.6%	581,786	105.1%	39.4%
25	2013	919,442	102.8%	59.3%	630,643	108.4%	40.7%
26	2014	931,972	101.4%	60.4%	609,919	96.7%	39.6%
27	2015	903,230	96.9%	59.4%	616,653	101.1%	40.6%
28	2016	917,652	101.6%	59.0%	636,613	103.2%	41.0%
29	2017	937,549	102.2%	58.6%	662,497	104.1%	41.4%
30	2018	899,772	96.0%	56.7%	687,236	103.7%	43.3%

表-3 金額

		業務用			家庭用		
		(百万円)	対前年比	構成比	(百万円)	対前年比	構成比
平成20年	2008年	418,045	98.4%	62.7%	248,167	102.7%	37.3%
21	2009	395,952	94.7%	62.2%	240,510	96.9%	37.8%
22	2010	373,427	94.3%	59.4%	254,945	106.0%	40.6%
23	2011	369,741	99.0%	58.7%	260,300	102.1%	41.3%
24	2012	374,449	101.3%	58.2%	268,844	103.3%	41.8%
25	2013	392,114	104.7%	57.9%	285,259	106.1%	42.1%
26	2014	395,547	100.9%	58.1%	284,971	99.9%	41.9%
27	2015	392,594	99.3%	57.1%	294,450	103.3%	42.9%
28	2016	398,532	101.5%	58.0%	288,528	98.0%	42.0%
29	2017	405,556	101.8%	56.6%	311,598	108.0%	43.4%
30	2018	396,580	97.8%	55.4%	318,822	102.3%	44.6%

## (3)品目別

大分類の品目別生産量では、引き続き水産物(93.3%)が減少し、同じく天候不良により農産物(91.2%)も減少した。国内生産の大半を占める調理食品(100.0%)は横ばいとなった。

小分類の品目で前年に対して大きく増加したのは、うどん(4,575トン増、102.7%)、ギョウザ(3,784トン増、105.1%)、ラーメン類(3,755トン増、106.4%)などであった。

減少したのは、卵製品(6,289トン減、86.4%)、パン・パン生地(3,885トン減、82.1%)、コロッケ(3,541トン減、98.0%)などであった(但し、「うち～、その他の～」を除く)。

小分類の品目別生産量における上位 20 品目をみると、前年同様コロッケが 1 位、2 位がうどん、3 位は炒飯となった。順位を上げたのは、7 位から 5 位になったカツと、16 位から 14 位となった中華まんじゅうなどであった。

表-4

			水産物	農産物	畜産物	調理食品			菓子類	合計
						フライ類	フライ類以外	小計		
数量	(トン)	業務用	34,976	54,243	5,106	277,077	492,855	769,935	35,515	899,772
		家庭用	13,356	17,045	1,387	80,254	562,241	642,495	12,953	687,236
		合計	48,332	71,288	6,493	357,331	1,055,096	1,412,427	48,468	1,587,008
	構成比率	業務用	72.4%	76.1%	78.6%	77.5%	46.7%	54.5%	73.3%	56.7%
		家庭用	27.6%	23.9%	21.4%	22.5%	53.3%	45.5%	26.7%	43.3%
		合計	93.3%	91.2%	99.3%	99.3%	100.2%	100.0%	94.9%	99.2%
	前年比	業務用	85.7%	81.9%	98.5%	100.3%	96.6%	97.9%	91.1%	96.0%
		家庭用	121.2%	142.1%	102.4%	95.9%	103.7%	102.6%	107.1%	103.7%
		合計	93.3%	91.2%	99.3%	99.3%	100.2%	100.0%	94.9%	99.2%
金額	(百万円)	業務用	32,822	15,809	2,383	127,500	189,415	316,915	28,651	396,580
		家庭用	11,703	6,817	1,103	55,693	237,043	292,736	6,463	318,822
		合計	44,525	22,626	3,486	183,193	426,458	609,651	35,114	715,402
	構成比率	業務用	73.7%	69.9%	68.4%	69.6%	44.4%	52.0%	81.6%	55.4%
		家庭用	26.3%	30.1%	31.6%	30.4%	55.6%	48.0%	18.4%	44.6%
		合計	94.4%	95.5%	93.2%	100.0%	100.8%	100.5%	97.4%	99.8%
	前年比	業務用	89.1%	87.2%	102.1%	99.6%	99.6%	99.6%	95.4%	97.8%
		家庭用	113.4%	122.8%	78.4%	100.9%	101.7%	101.5%	107.4%	102.3%
		合計	94.4%	95.5%	93.2%	100.0%	100.8%	100.5%	97.4%	99.8%

## 2. 輸入

### (1) 冷凍野菜

財務省貿易統計による30年(1～12月)のわが国の冷凍野菜輸入量は、1,051,938トン(104.3%)と4年連続の増加となった。輸入額は、1,951億円(104.2%)と2年連続の増加となった。輸入量の増加は、国内の野菜価格が総じて高い水準であったこと等によるものとみられる。

輸入量が増加した主な品目としては、ブロッコリー(8,581トン増、117.6%)、ほうれん草(6,304トン増、113.9%)、ポテト(3,890トン増、101.0%)、などであった。

主な輸入先である中国(30,801トン増、107.1%)は総じて増加したほか、オランダ(9,903トン増、139.5%)もポテトを中心に増加、エクアドル(5,770トン増、126.4%)も増加した。昨年増加したアメリカ(8,683トン減、97.3%)はポテトを中心に減少となった。

表-5

		数量		金額	
		トン	対前年比	百万円	対前年比
平成20年	2008	770,563	93.8%	111,140	88.2%
21	2009	760,997	98.8%	104,698	94.2%
22	2010	829,406	109.0%	111,693	106.7%
23	2011	899,356	108.4%	120,178	107.6%
24	2012	952,041	105.9%	133,104	110.8%
25	2013	924,251	97.1%	157,210	118.1%
26	2014	907,964	98.2%	171,965	109.4%
27	2015	911,518	100.4%	187,684	109.1%
28	2016	943,211	103.5%	170,139	90.7%
29	2017	1,008,783	107.0%	187,171	110.0%
30	2018	1,051,938	104.3%	195,121	104.2%

## (2)調理冷凍食品

30年の調理冷凍食品輸入量は、254,353トン(103.6%)、金額は1,641億円(107.0%)となり、数量、金額ともに増加した。

輸入量を業務用と家庭用に分けてみると、業務用は214,039トン(99.8%)、家庭用40,314トン(129.7%)となり、金額は業務用は1,316億円(104.0%)、家庭用は325億円(121.2%)と、業務用は量がほぼ前年並みとなったが金額は増加し、家庭用は量、金額ともに大幅に増加した。

国別輸入量では、主要な輸入先の中国(2,015トン減、98.4%)は減少したが、タイ(3,886トン増103.7%)、ベトナム(1,865トン増、124.1%)が増加した。

なお、この調査は、当協会会員社のうち、輸入調理冷凍食品を取り扱っている36社を対象にしたものであり、わが国の調理冷凍食品輸入の全体の状況を示すものではない。

表-6 輸入量・金額の推移

		数量		金額	
		トン	対前年比	百万円	対前年比
平成20年	2008年	232,224	72.6%	111,156	76.2%
21	2009	201,826	86.9%	91,587	82.4%
22	2010	227,618	112.8%	92,735	101.3%
23	2011	246,330	108.2%	109,048	117.6%
24	2012	273,635	111.1%	122,797	112.6%
25	2013	282,651	103.3%	142,542	116.1%
26	2014	261,237	92.4%	135,773	95.3%
27	2015	250,405	95.9%	140,866	103.8%
28	2016	230,735	92.1%	132,242	93.9%
29	2017	245,579	106.4%	153,349	116.0%
30	2018	254,353	103.6%	164,088	107.0%

表-7 国別の輸入量推移

		中国		タイ		その他		合計	
		トン	対前年比	トン	対前年比	トン	対前年比	トン	対前年比
平成20年	2008年	128,373	60.4%	87,912	104.6%	15,939	68.8%	232,224	72.6%
21	2009	110,515	86.1%	75,235	85.6%	16,076	100.9%	201,826	86.9%
22	2010	137,029	124.0%	75,981	101.0%	14,608	90.9%	227,618	112.8%
23	2011	145,836	106.4%	77,372	101.8%	23,122	158.3%	246,330	108.2%
24	2012	164,087	112.5%	94,288	121.9%	24,276	105.0%	273,635	111.1%
25	2013	165,944	101.1%	101,018	107.1%	15,689	102.8%	282,651	103.3%
26	2014	147,096	88.6%	96,591	95.6%	17,550	111.9%	261,237	92.4%
27	2015	137,471	93.5%	97,851	101.3%	15,083	85.9%	250,405	95.9%
28	2016	113,456	82.5%	94,978	97.1%	22,301	147.9%	230,735	92.1%
29	2017	129,828	114.4%	105,108	110.7%	10,643	47.7%	245,579	106.4%
30	2018	127,813	98.4%	108,994	103.7%	17,546	147.9%	254,353	103.6%

### 3. 国内消費

当協会では、「冷凍食品国内生産量」、「冷凍野菜輸入量」及び「調理冷凍食品輸入量」の合計を冷凍食品の「消費量」としている。

30年のわが国の冷凍食品消費量は、上記の国内生産量 1,587,008 トンに、冷凍野菜輸入量 1,051,938 トンと、調理冷凍食品輸入量 254,353 トンを加えた 2,893,299 トン(101.3%)であった。これを総人口(126,443 千人)で割った国民1人当りの年間消費量は、22.9 キログラム(0.4 キログラム増、101.8%)となったが、いずれも過去最高を記録した。また、金額ベースは1兆746億円と2年連続1兆円を上回った。

なお、前述のように調理冷凍食品の輸入については、当協会会員だけを対象にした調査であり、会員以外の商社、流通業者等が輸入しているものを考慮すると、実際の「消費量」はこの289万トンを上回るものと考えられる。

表-8 数量

		国内生産量 (トン)	冷凍野菜 輸入量 (トン)	調理冷凍食 品輸入量 (トン)	合計(消費量)		国民1人 当り消費量 (kg)
					(トン)	対前年比(%)	
平成20年	2008	1,471,396	770,563	232,224	2,474,183	92.7	19.4
21	2009	1,396,035	760,997	201,826	2,358,858	95.3	18.5
22	2010	1,399,703	829,406	227,618	2,456,727	104.1	19.2
23	2011	1,417,907	899,356	246,330	2,563,593	104.3	20.1
24	2012	1,476,368	952,041	273,635	2,702,044	105.4	21.2
25	2013	1,550,085	924,251	282,651	2,756,987	102.0	21.7
26	2014	1,541,891	907,964	261,237	2,711,092	98.3	21.3
27	2015	1,519,883	911,518	250,405	2,681,806	98.9	21.1
28	2016	1,554,265	943,211	230,735	2,728,211	101.7	21.5
29	2017	1,600,046	1,008,783	245,579	2,854,408	104.6	22.5
30	2018	1,587,008	1,051,938	254,353	2,893,299	101.4	22.9

表-9 金額

		国内生産額 (百万円)	冷凍野菜 輸入額 (百万円)	調理冷凍食 品輸入額 (百万円)	合計	
					(百万円)	対前年比(%)
平成20年	2008	666,212	111,140	111,160	888,512	94.7
21	2009	636,462	104,698	91,587	832,747	93.7
22	2010	628,372	111,693	92,736	832,801	100.0
23	2011	630,041	120,178	109,048	859,267	103.2
24	2012	643,293	133,104	122,799	899,196	104.6
25	2013	677,373	157,210	142,542	977,125	108.7
26	2014	680,518	171,965	135,773	988,256	101.1
27	2015	687,044	187,684	140,866	1,015,594	102.8
28	2016	687,060	170,139	132,242	989,441	97.4
29	2017	717,154	187,171	153,349	1,057,674	106.9
30	2018	715,402	195,121	164,088	1,074,611	101.6

《別添資料》

1. 冷凍食品の国内生産及び消費
2. 品目別国内生産
3. 品目別国内生産及び構成比率と1キログラム当り金額
4. 国内生産量上位20品目(平成25～30年推移)
5. 冷凍野菜品目別生産国別輸入
6. 調理冷凍食品輸入
7. 調理冷凍食品輸入(平成20～30年推移)
8. 調理冷凍食品輸入 品目別取扱社数・国別主要品目

《問い合わせ先》

一般社団法人 日本冷凍食品協会

〒104-0045 東京都中央区築地3丁目17番9号 興和日東ビル4階

担当：総務企画部企画調査課 横塚

TEL:03-3541-3003

FAX:03-3541-3012

E-mail:yokotsuka@reishokukyo.or.jp